

今月も始まりました、知って役立つ「防災のワ」  
今月もわかりやすく防災に関する情報をお届けします。

職員の皆さんは、市民の方々と接する中で、  
色々な質問を受けることもあると思います。

逆に、色々なことを教えたいと思っている職員  
の皆さんもいると思います。

皆さんが身につけた「ワッ！そうだったんだ」  
という防災の知識を市民の皆さんに伝えること  
で、市民の命を守ることができるかもしれません。

また、皆さんが発信した知識が広がり、会った  
ことのない誰かを助けることができるかもしれ  
ません。

皆さんから広がる「防災のワ」、今月もSTART  
です！



## VOL. 5 「災害」に対する日頃からの備え①

今年も7月初旬から、大雨による河川の  
氾濫や浸水被害が日本各地で発生していま  
す。特に九州地方では、大雨特別警報も発  
令され、家屋の倒壊だけでなく、人的被害  
も多く報道されていました。

さらに、平成30年7月、広島地方を襲つ  
た豪雨災害や、8月に大阪で大きな被害を  
出した台風21号は皆さんの記憶にも残って  
いると思います。また、平成30年9月  
には、大阪北部地震も発生し、近年は自然災  
害を身近に感じるが多かったと思いま  
す。

そこで、あらためて、地震や風水害に対  
する日頃の備えを考えていきたいと思いま  
す。

第1弾は、やることリストと「非常持ち  
出し品」、「非常備蓄品」についてお伝えし  
ていきます。

災害発生時は、誰でも慌ててしまつもの  
です。どのような行  
動をとればいいのか、  
日頃からイメージし  
ておき、チェックリ  
ストで見やすい場所  
に置いてみてはいか  
がでしょうか。いざ  
というとき慌てない  
ための準備と心構え  
も、大事な防災のひ  
とつです。



### 大切な人と、防災会議を開こう！

災害の被害を少しでも小さくするためには、日頃  
からの備えが大切です。身の回りの安全について改  
めて大切な人と考えてみましょう。

### やることリストを決める

- 火を消す
- ガスの元栓を閉める
- 子どもやお年寄りの安全を確認する
- 危険物を安全なところへ移す
- 消火器、バケツなどを準備する
- 電気器具のコンセントを抜く、ブレーカーを切る
- ラジオ・テレビなどで情報を確認する
- 出入口を確保する
- 非常持ち出し品を確認する
- すぐに戻ってこれない家族へ伝言を書いておく
- 家の前に行先や連絡先を書いた紙を貼っておく

### 危険箇所をチェックする

家の中と外に危険箇所がないかどうかをチェック  
しましょう。例えば、倒れやすい家具や家の周りに  
植木鉢など、倒れやすいものを危険な場所に置いて  
いないかなど、危ない場所は、修理や補強につい  
て話し合みましょう。

### 「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」をチェックする

自分たちに必要な物品がそろっているか確認しま  
す。また、定期的に保存状態や消費期限を点検し、  
必要な交換しましょう。次のチェックリストを参  
考にしてみてください。